

介護ロボやAI活用による 高齢社会での ウェルビーイングの実現

参加無料

定員400名

|申込不要|

2023

7/15 土

13:00-15:00 [開場12:30]

成蹊大学4号館ホール

現在、介護現場の人材不足は深刻な状況です。そこで、介護ロボットやAIの活用による効率化が模索されています。しかし、これらの技術は効率化のための手段なのでしょうか。本来目指すべきは、高齢者が自分らしい老後を生き、支援者もまた生き生きとウェルビーイングを追求できる状況です。この講演では、新しい技術と介護現場の双方に深い知見を持つ鎌田先生をお招きし、ウェルビーイングのための技術についての方策を議論します。

講演者

鎌田 大啓氏

株式会社TRAPE（トラピ）代表取締役/CEO/CWD・
大阪大学 医学部保健学科 医学系研究科 招聘教員



病院勤務を経て介護保険の原点である「自立支援」を軸とした各種介護サービスを展開し、市の介護保険事業者連絡会会長として様々な関係者と地域づくりに取り組む。介護現場の可能性をデザインすることができていない現状に対して強い危機感と使命感を覚え、2015年株式会社TRAPEを設立。高齢者やその家族のwell-beingな生き方を創出すべく、厚生労働省や自治体の地域づくり事業にも深く関わる。また医療介護専門職の可能性をさらに発揮するため介護事業所という組織をwell-beingにするための介護事業所特化型の組織開発サポートサービス「Sociwell」等を展開する。

2017年の黎明期より、厚生労働省が出した介護事業所/自治体向け生産性向上ガイドライン作成にも深く関わるなど日本の介護業界における生産性向上の取り組みの中心的役割を果たしてきた。また、個人として厚生労働省の地域づくりや生産性向上に関する委員会の委員を務める。

司会進行

渡邊 大輔

成蹊大学文学部教授・成蹊大学Society 5.0研究所所員



慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科単位取得退学（博士：政策・メディア）。2013年に成蹊大学文学部現代社会学科社会学科講師に就任し、2021年に同教授。専門は社会学、社会老年学。武蔵野市では第6期長期計画調整計画の策定や地域包括ケアの推進など、複数の委員業務をおこなっている。

※詳細は、Society 5.0研究所公式ウェブサイトをご確認ください。本講演会は、オンライン配信はございません。

